

## 安全データシート

ページ: 1/12

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 25. 04. 2022

製品: Emerald DG / エメラルドDG

バージョン: 6.0

(30268593/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

### 1. 化学品及び会社情報

#### Emerald DG エメラルドDG

用途: 農薬製品, 殺菌剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 25. 04. 2022  
製品: Emerald DG / エメラルドDG

バージョン: 6.0

(30268593/SDS\_GPA\_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺菌剤, 顆粒水和剤

#### GHS分類に寄与する成分

2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

含有量 (W/W): 70 %

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

CAS番号: 188425-85-6

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

Morwet D-500 Powder [EXT]

含有量 (W/W): < 10 %

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

硫酸アンモニウム

含有量 (W/W): < 10 %

急性毒性: 区分 5 (経口)

CAS番号: 7783-20-2

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

化審法: (1)-400

労働安全衛生法: (1)-400

リグニンスルホン酸ナトリウム

含有量 (W/W): < 10 %

CAS番号: 8061-51-6

化審法: (8)-209

労働安全衛生法: (8)-209

カオリン

含有量 (W/W): < 5 %

CAS番号: 1332-58-7

## 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場合に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 泡, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:

二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 二酸化炭素, 塩化水素, 窒素酸化物, 有機ハロゲン化合物  
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。粉塵を発生させない。

[環境に対する注意事項]:  
土壤中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:  
少量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。  
大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。  
水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。  
廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。粉塵を発生させないこと。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### [取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

### 安全取扱注意事項:

粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。粉塵を発生させない。

### [保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 湿気を避ける。直射日光を避ける。熱から離して保管すること。

保管安定性:

保管期間: 24 月

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

カオリン, 1332-58-7;

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 25. 04. 2022

製品: Emerald DG / エメラルドDG

バージョン: 6.0

(30268593/SDS\_GPA\_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 1 mg/m<sup>3</sup> (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 吸入性粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 4 mg/m<sup>3</sup> (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 総粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 mg/m<sup>3</sup> (ACGIHTLV), 吸入域フラクション

数値は、アスベストを含まず、結晶性石英の含量が1%未満の粒子状物質の値 TLV (threshold limit value : 管理濃度) 0.025 mg/m<sup>3</sup> (労働安全衛生法 (JP)), 粉塵

暴露限界は、100%遊離シリカの値を用いて方程式  $3.0 / [1.19 * (\% \text{遊離シリカ}) + 1]$  から計算される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 mg/m<sup>3</sup> (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 吸入性粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 8 mg/m<sup>3</sup> (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 総粉塵

#### 【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具の着用は不要。

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること) : ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:

粒状固体

色:

ベージュ色

臭い:

中程度の臭気、けむりのような臭い

臭いのしきい値:

吸入による健康障害の可能性のために決められていない。

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 25. 04. 2022  
製品: Emerald DG / エメラルドDG

バージョン: 6.0

(30268593/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日 22.06.2022

pH:	約 4.5 - 6.5 (10 g/l, 20 ° C)	
融点:	> 20 ° C	
沸点:	この製品は、不揮発性固体である。	
引火点:	適用せず	
蒸発率:	適用せず	
可燃性 (固体/ガス):	構造もしくは組成に基づくと、引火性の兆候はない。	
爆発下限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
爆発上限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。	
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。	
自己発火性:	自己発火性なし。	
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
蒸気圧:	無視できる	
密度:	約 1.50 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)	(OECDテストガイドライン 109)
相対ガス密度 (空気):	適用せず	
水に対する溶解性:	分散可能	
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow):	適用せず	

粘度:  
固体のため、未測定

その他の情報:  
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:  
製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:  
強酸化剤, 強塩基, 強酸

[危険有害な分解生成物]:  
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:  
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

急性毒性の評価:  
単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算によるデータ:  
LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)  
死亡なし

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.4 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)  
死亡なし

### 刺激性

刺激性作用の評価:  
皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: (OECDテストガイドライン405)

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算によるデータ:

改定Buehler試験 モルモット: (OECDテストガイドライン406)

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

### 発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ボスカリド)

発がん性の評価:

ラットを用いた長期の実験において、この物質は甲状腺腫瘍を誘発した。この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。この物質を餌によって与えたマウスの長期の試験において、発癌性は、観察されなかった。

記載物質に関する情報: カオリン

発がん性の評価:

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。  
-----

### 生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

### 発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

### 特定標的臓器毒性 (単回ばく露):



**単回暴露評価:**

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）****反復投与毒性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）

**反復投与毒性の評価:**

動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

記載物質に関する情報： カオリン

**反復投与毒性の評価:**

肺胞に到達する粒子/埃を繰り返し吸入摂取すると、肺に損傷を起こす可能性がある。

**誤えん有害性**

予測される吸入危険性はない。

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

**その他該当する毒性情報**

誤用により、健康を損なうおそれがある。

---

**12. 環境影響情報****生態毒性****水生生物に対する毒性の評価:**

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

**魚類に対する毒性:**

LC50（半数致死濃度）（96 h）420 mg/l, コイ（学名：Cyprinus carpio）

**水生無脊椎動物:**

EC50（48 h）> 1,000 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）

**水生植物:**

EC50（72 h）150 mg/l, 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit

無影響濃度（72 h）32 mg/l, 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit

## 移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

環境区分間の輸送評価:

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

## 残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

容易に生分解性されない (OECD基準による)

## 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 57 - 70 (28 日), ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*)

生物体内に蓄積しない。

## [追加情報]

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

## 13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

### 海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

### Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

### 航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

### Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

### [追加情報]

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

## 15. 適用法令

消防法: 非危険物

獣脂脂肪酸とナトリウムの塩

化審法

優先評価化学物質

< 1 %

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム

化審法

優先評価化学物質

< 1 %

### その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

## 16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。